

環状図

受胎可能期および不妊期の粘液パターン

Evelyn L. Billings AM, MBBS, DCH (Lond.) and
John J. Billings AM, KCSG, MD, FRACP, FRCP (Lond.)

基本的な不妊パターン

A : 外陰部の乾いた感じ。この日数は周期ごとに変化するかも知れません。この日数は長い周期では多く、短い周期ではほとんどありません。

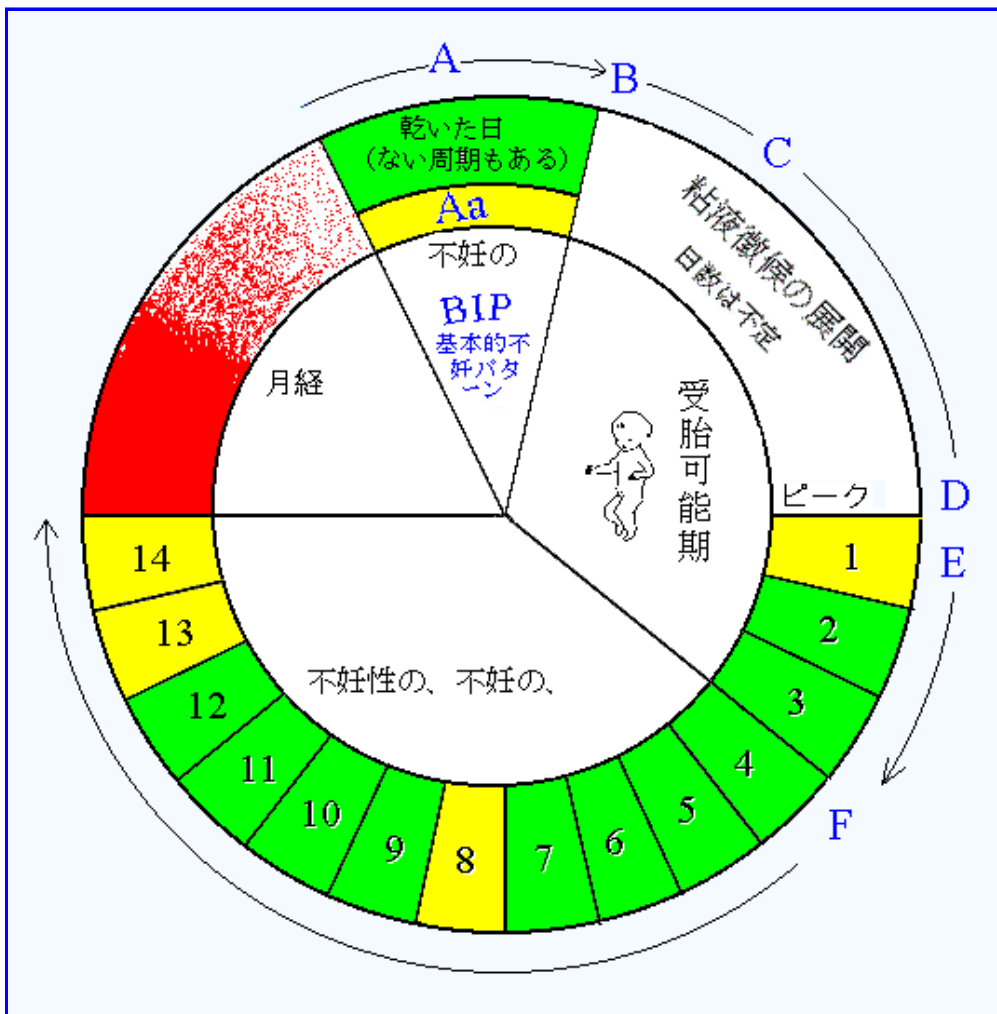
Aa : 持続的におりものが変化しない期間 (BIP)

受胎可能期

B : 乾いた感がなくなるのは、粘液の分泌が始まったためです。乾いた日が月経後になかったならば、粘液の分泌が月経中にすでに始まっているのです。

持続的におりものが変化しない状態が「他の」パターンに変わった場合は、受胎が可能です。

C : 粘液の分泌 (日数は不定)。粘液は精子細胞の生存期間を延長します。排卵前の粘液分泌期からピークの3日後までの間は、性器接触によって妊娠が起こる可能性があります。



D : 受胎可能性がもっとも高くなる時点では、膣口は非常に滑らかな感触がします。このような感触がある最終日をピークと呼びます。排卵はピークに続いて起こります。ピークの1または2日前にはつきりとした糸状の粘液がみられることがありますが、膣口にスベスベとした感触を残して消失します。膣口は腫脹しています。

E : ピーク後は湿った、あるいはスベスベした感触はありません。ピークの翌日には粘液は不透明でネバネバになるか、または消失しますが、膣口に乾いた感触は残ります。2日目と3日目には、まだ不透明でネバネバした粘液が認められるか、または膣口が乾いた感触になります。これらのピーク後の3日間は、いかなる性器接触によっても妊娠が起こる可能性があります。

不妊性、不妊の、

F : 粘液のピークから次の月経までの期間は約2週間です。ピークの4日目から、再び不妊期が始まります。その後には粘液が出現する場合は、それはネバネバして不透明であるのが普通です。卵子は死んでしまいます。月経の直前に粘液は湿った感触になることがあります。